



UNIVERSITY OF  
FUKUI

格致 KAKUCHI,  
the driving force for  
the future of people and society

# 福井大学 (福井県)

学校の課題を実践的に解決し、高い教師力を目指す

## ◇大学紹介

### ①大学の概要

本学は、教育学部、医学部、工学部、国際地域学部の4学部及び大学院福井大学・岐阜聖徳学園大学・富山国際大学連合教職開発研究科（以下、教職大学院）、大学院医学系研究科、大学院工学研究科、大学院国際地域マネジメント研究科の4研究科からなる。教員研修留学生が所属する教職大学院には、教職開発専攻がある。福井県は、日本のほぼ中央に位置し、美しい自然と豊かな文化遺産に恵まれたところである。日本海に面し、古くは大陸諸国と都を結ぶ玄関口として重要な位置を占め、その長い歴史と伝統、そして四季折々の変化に富んだ美しい自然は、日本の典型的な風情を漂わせている。



### ②国際交流の実績

・過去3年間の留学生の受入れ実績

2024年度：175名  
2023年度：163名  
2022年度：131名

・過去3年間の教員研修留学生の受入実績

2024年度：4名  
2023年度：0名  
2022年度：3名

## ◇教員研修コースの概要・特色

### ①研修コースの特色

学校の課題に協働で継続的に取り組み、省察の実践力を通じた専門的力量を形成する。

### ②受入定員 3名

### ③奨学金支給期間

2025年10月～2027年3月

### ④コースの修了要件

・日本語教育  
以下の日本語研修コースの科目を受講する。

日本語科目  
日本文化体験  
修了研究  
修了研究演習

日本語科目については、日本語レベルに応じて科目を選択し、受講する。  
日本語能力が初級～中級の場合、12時間/週以上受講する。  
中上級以上の場合は、10時間/週以上受講する。  
修了課題として、2026年2月に日本語によるポスター発表を行う。



日本語研修コース  
修了証書授与

・専門教育

学校における実習・ふり返り・記録の作成を必須とし、2027年2月までに指導教員への研究レポートの提出及び研究成果について発表を行う。  
本学教職大学院1年次における24単位相当の学修に取り組む。

### ⑤研修コースの概要

・日本語教育

グローバル人材育成研究センター

期間：2025年10月～2026年3月

概要：日本語研修コースにて6ヵ月間の日本語集中授業を行う

期間：2026年4月～2027年3月

概要：日本語学習の継続を希望する者は、留学生向け日本語科目を受講することができる。

・専門教育

期間：2026年4月～2027年3月

-教職大学院の拠点校で研究テーマに関わる実践研究（授業参観・記録作成等）に取り組む。  
-指導教員と定期的かつ継続的に省察カンファレンスを行いながら、長期実践研究報告書をまとめる。  
-作成した報告書をもとに、年に2回（6月・2月）開催される実践研究交流集会（ラウンドテーブル）にて、中間報告と最終報告を行う。

・日本人学生との共修の機会

教職大学院では、月に一度、指導教員・日本人学生・留学生を交えたカンファレンスを行い、国籍・世代・校種を超えた教職専門性の開発・発展を支援する。

## ◇修了生へのフォローアップ

本学では、留学生同窓会をアジアを中心に現在までに18支部設立し、各国支部と連携している。その活動を推進するために、グローバル・エンゲージメント推進本部ネットワーク誌「こころねっと」を発行し、帰国留学生と情報交換を行っている。

## ◇宿 舎

【福井大学留学生会館】

・入居期間：半年間（2025年10月～2026年3月）  
※2026年4月～2027年3月は民間アパートへの入居となる。ただし、寮の入居状況により2025年10月から民間アパートへの入居になる可能性がある。

・入寮費： 20,000円  
・共益費： 3,000円/月  
（水道光熱費は別途）  
（インターネットは別途契約）

・寄宿料：  
居室A 14,600円/月  
居室B 17,400円/月  
・宿舍設備・備品：ミニキッチン、ユニットバス、トイレ、机、イス、ベッド、冷蔵庫、本棚、スタンド、エアコン等



・共用設備：洗濯機、乾燥機（各1回100円）

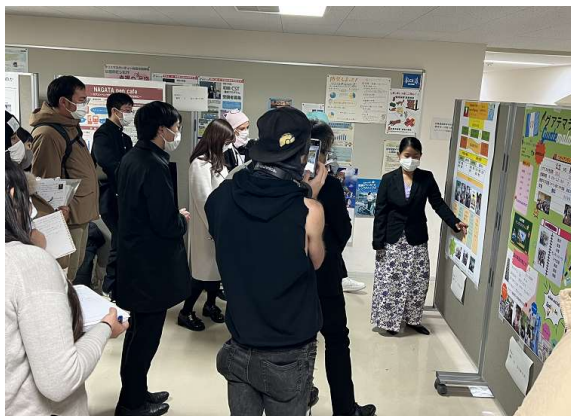
・宿舎は自分の居室を含め全館禁煙

・宿舎周辺の生活情報・通学時間：

留学生会館からキャンパスまで徒歩7分。最寄駅までは徒歩3分。周辺にはスーパーやコンビニ、銀行、郵便局などがある。



日本文化体験（そば手作り体験）



ラウンドテーブルでのポスター発表



教員研修修了証書授与

## ◇問合せ先

<担当部署>

福井大学学務部国際課



住所：〒910-8507

福井県福井市文京3-9-1

TEL: +81-776-27-8405(直通)

FAX: +81-776-27-9715

Email: [gk-iadexchange@ml.u-fukui.ac.jp](mailto:gk-iadexchange@ml.u-fukui.ac.jp)

<ウェブサイト>

福井大学のホームページ:

<https://www.u-fukui.ac.jp/>

大学名： 福井大学(大学番号20)

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	福井大学・岐阜聖徳学園大学・富山国際大学連合教職開発研究科								
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)	
20001	<a href="#">木村 優 教授</a>	<a href="mailto:u-kimura@u-fukui.ac.jp">u-kimura@u-fukui.ac.jp</a>	教職開発 教育方法学 心理・教育学	福井大学・岐阜聖徳学園大学・富山国際大学連合教職開発研究科(教職大学院)教職開発専攻は、教師のための専門職大学院である。教師が専門性を獲得するためには、教師が実践一省察一再構成のサイクルに身を置き、学校自体を「学びのコミュニティ」に再構築することが重要である。 そこで、福井大学では、世界に先駆け「学校拠点方式」を実施している。「学校の抱える課題を、学校で、学校の同僚教師と協働して解決する大学院」をモットーに実践的な教師教育を進めている。学校で生じる課題について、大学教員と当該学校の教員が協働して取り組み、そのプロセスを協働省察し実践研究としてまとめ、他大学等の交流の場(ラウンドテーブル)で、内容を深めている。 大学教員には様々な専門分野の教員がおり、チームティーチングを行いながら学問の壁を超えて実践研究を積み重ねている。 留学生は大学教員とともに学校現場に出かけ、授業研究を進めるとともに学校での実習も経験する。	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校教員 <input checked="" type="checkbox"/> 中高教員 <input type="checkbox"/> その他( )	英語、日本語	3名	・当該国で小・中・高等で教員歴があること。 ・日本の学校教育にかかわることから、日本語習得済み、もしくは期間中に日本語を習得する意思のあること。 ・帰国後は当該国での教育及び教師教育に貢献する意思のあること。 ・帰国後、当該国と日本の教師教育研究の交流に尽力する意思のあること。 (マレーシア3名、カンボジア1名、ブータン1名、メキシコ2名、ナミビア共和国1名、ミャンマー1名、グアテマラ1名、フィリピン1名、アルゼンチン1名、ボツワナ1名：計13名)	
20002	<a href="#">岸野 麻衣 教授</a>	<a href="mailto:m-kisino@f-edu.u-fukui.ac.jp">m-kisino@f-edu.u-fukui.ac.jp</a>	教職開発 幼児教育		<input checked="" type="checkbox"/> 小学校教員 <input checked="" type="checkbox"/> 中高教員 <input type="checkbox"/> その他( )				
20003	<a href="#">半原 芳子 教授</a>	<a href="mailto:yoshikoh@u-fukui.ac.jp">yoshikoh@u-fukui.ac.jp</a>	教職開発 言語教育		<input checked="" type="checkbox"/> 小学校教員 <input checked="" type="checkbox"/> 中高教員 <input type="checkbox"/> その他( )				
20004	<a href="#">笹原 未来 准教授</a>	<a href="mailto:sasahara@u-fukui.ac.jp">sasahara@u-fukui.ac.jp</a>	教職開発 障害児教育(学)		<input checked="" type="checkbox"/> 小学校教員 <input checked="" type="checkbox"/> 中高教員 <input type="checkbox"/> その他( )				
20005	<a href="#">高阪 将人 准教授</a>	<a href="mailto:kosaka@u-fukui.ac.jp">kosaka@u-fukui.ac.jp</a>	教職開発 理数教育		<input checked="" type="checkbox"/> 小学校教員 <input checked="" type="checkbox"/> 中高教員 <input type="checkbox"/> その他( )				
20006	<a href="#">隼瀬 悠里 准教授</a>	<a href="mailto:y-hayase@u-fukui.ac.jp">y-hayase@u-fukui.ac.jp</a>	教職開発 教育科学		<input checked="" type="checkbox"/> 小学校教員 <input checked="" type="checkbox"/> 中高教員 <input type="checkbox"/> その他( )				
20007	<a href="#">遠藤 貴広 准教授</a>	<a href="mailto:endo@u-fukui.ac.jp">endo@u-fukui.ac.jp</a>	教職開発 教育方法学 カリキュラム開発		<input checked="" type="checkbox"/> 小学校教員 <input checked="" type="checkbox"/> 中高教員 <input type="checkbox"/> その他( )				
					<input type="checkbox"/> 小学校教員 <input type="checkbox"/> 中高教員 <input type="checkbox"/> その他( )				
					<input type="checkbox"/> 小学校教員 <input type="checkbox"/> 中高教員 <input type="checkbox"/> その他( )				
					<input type="checkbox"/> 小学校教員 <input type="checkbox"/> 中高教員 <input type="checkbox"/> その他( )				

※「研修の対象者」は該当する方(両方に該当する場合は両方)に☑を付けてください。